



あなたの力チカラが必要です!

交野市職労「新入職員歓迎会」(4月2日)♪和気あいあいと、楽しい時間もあっという間

住民のために いい仕事をしよう

新入職員のみなさんは、「やりがいのもてる仕事がしたい」「住民に役立つ自治体職場で働きたい」など、新しい職場でワクワクされていると思います。また、新たな職場に異動された方もいるでしょう。私たちの職場環境や労働条件は、勝手に決まるものではありません。みんなの意見を集めて、労働組合が要求して、当局(理事者側)との交渉をしないと要求実現も改善もされません。働きやすい職場でやりがいある仕事をするためには、あなたの力が必要です。ぜひ労働組合に加入して、いっしょに力をあわせましょう!



枚方市職労
「新入職員歓迎会」(4月4日)
♪ゲームでたのしく、みんな笑顔で盛り上がり、景品もゲット



貝塚市職労青年部
「新入職員歓迎会」(4月10日)
♪名前ビンゴで自己紹介、会話も弾んで楽しく交流できたよ

人権がいきる社会の実現を

左から書記の大杉葉子さん、倉畑委員長、書記次長の松本茂典さん



富田林市職員労働組合
執行委員長
倉畑 和世さん

したたかに 初の女性委員長

公立保育所の給食調理員として、20年前に子育て真最中に組合役員を引き受け、大阪自治労連婦人部書記長などを歴任し、昨年から執行委員長として走り回っている倉畑和世さんです。いまの心境や新委員長の決意をお聞きしました。

「人権」への社会的責任が問われている

3月31日に公表されたフジテレビの第三者委員会調査報告は、「中居氏の性暴力が重大な人権侵害」であり、「圧倒的な権力格差」から「業務の延長線上」で起きたものと断定。「人権意識の低さ」「企業の機能不全」との社会的責任が問われます。この事案は一つの企業の話ですが、ジェンダーギャップ指数(男女格差を示す指標)が世界的に低く、度重なる国連勧告を受けても改善しない日本政府の姿勢にもあてはまります。諸外国では車椅子の方も運転免許の取得が可能であり、あらゆる差別や障がいを取り除くことが「世界の常識」です。日本では女性や子どもの人権を守る施策の予算が削減されて

子どもたちから「給食おいしかった」

子どもたちに「給食おいしかった」と声をかけてもらうのがうれしいです。「この仕事を選んで本当によかった」と痛感しています。基本的には、栄養士が給食やおやつを調理員が提供しますが、月一回だけ調理員が自らメニューを考えておやつを提供します。そのおやつを子どもたちが喜ぶとモチベーションアップにつながっています。

私の次なら委員長をやりたい

前委員長の退任で、「委員長を引き受けていいよ」としたた

かに手を挙げました。歴代の委員長は本庁勤務で全員が男性なので、「女性でも現業職でも委員長ができる」と証明して、次世代にもつなげたいですね。今まで婦人部や現業支部、関連協議会など役員をやってきた経験を活かし、一人でも多くの組合員とつながって、笑顔で魅力ある市職労をめざします。わからないことは他の役員がサポートしてくれるので安心です。みんなが楽しく活動して「次は自分が委員長をやりたい」と思ってもらえる仲間をもっと増やしたいです。

自治体で働く職員としての誇りをもって

これまで交渉時は自由に発言していましたが、委員長発言には責任が伴うので、毅然とした当局対応が今後の課題です。すべての職員が「住民要求に応えていい仕事をしている」とやりがいある職場をめざします。いま市役所庁舎の建て替えでしばらく落ち着きませんが、昼休みや勤務終了後など、組合員の出入りが多くて明るい書記局です。いつでも皆の相談や話し相手をしてくださる書記の大杉さんに頼りっぱなしで本当に助かっています。